

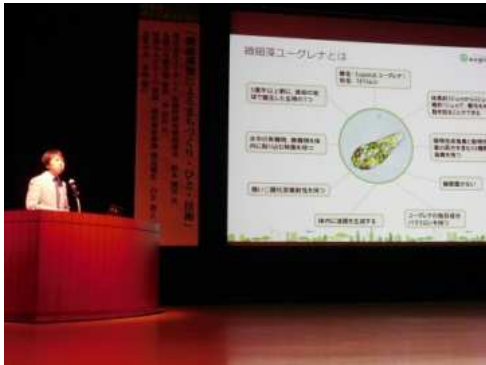
バイオマス産業都市とは？

木質、食品廃棄物、下水汚泥、家畜排せつ物など地域のバイオマスの原料生産から収集・運搬、製造・利用までの経済性が確保された一貫システムを構築し、地域のバイオマスを活用した産業創出と地域循環型のエネルギーの強化により、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくりを目指す地域のことです。

微細藻類の可能性をクローズアップ！「藻類シンポジウム in さが」開催！

佐賀市では、「バイオマス産業都市さが」のプロジェクトの柱のひとつとして、微細藻類の培養による資源及び産業の創出に取り組んでいます。

二酸化炭素を固定化し地球温暖化にも寄与しながら“資源”を創出する微細藻類について理解を深めるとともに、佐賀への藻類産業集積に必要なことなどを情報発信するため「藻類シンポジウム in さが」を開催しました。



株式会社ユーグレナ
鈴木健吾さんによる基調講演



パネルディスカッション
「微細藻類によるまちづくり・ひと・技術」

「バイオマス産業都市さが」のPR

「バイオマス産業都市さが」が目指す藻類産業が集積したまちづくりを広くPRするために、サガン鳥栖のホームゲーム（佐賀市民応援マッチ）で大型ビジョンによるPR動画の放映を行い、来場者約1万人に対してPRリーフレットと藻類ドリンクを配布しました。

また、佐賀市内の小学生を対象として、夏休み体験学習「二酸化炭素を知ろう！」を開催しました。二酸化炭素と地球温暖化についての基本的知識を学び、植物工場での二酸化炭素を活用した野菜の栽培体験を通して、その学習結果を学校や家庭に伝えてもらうことで「バイオマス産業都市さが」の周知を行いました。



CO₂で大きく育った野菜を収穫
たくさん取れたよ！！



佐賀市民応援マッチでのPR活動

佐賀市バイオマス産業都市構想の事業化プロジェクトのうち、「清掃工場二酸化炭素分離回収事業」、「下水浄化センターエネルギー創出事業」の2事業について、佐賀市が事業主体として実施しています。

清掃工場二酸化炭素分離回収事業

清掃工場では、ごみ処理過程で発生する排出ガスから二酸化炭素を分離回収し、資源として農作物の栽培や藻類の培養に活用するなど新たな産業の創出を目指しています。

排出ガスからの二酸化炭素分離回収技術については、平成25年度から平成26年度の2年間の実証実験で得られた研究成果を踏まえ、平成27年度に環境省の補助を受けて、実用レベルである日量10tの二酸化炭素を回収する設備の建設に着手しました。



実証試験装置



現在建設中の二酸化炭素分離回収設備（日量 10 t）

下水浄化センターエネルギー創出事業

下水浄化センターでは、平成23年から下水道の汚泥を活用した消化ガス発電を開始し、施設全体で消費する電力の約40%を生み出しています。

今後、新たな取り組みとして、地域の未利用バイオマスを集約し、消化ガスの発生量を増やすことで、さらなるエネルギーの増産を目指し、環境負荷の低減に貢献していきます。



現在稼働中の消化ガス発電設備（25 kW×16台＝400 kW）



消化ガスを発生させる消化槽

※今後、エネルギー増産に向けた各設備の増設計画を検討中。